

疫学研究計画書

課題名	栃木県自殺未遂者調査				
研究責任者 (申請者)	所属	地域医療学センター公衆衛生学部門		職名	教授
	氏名	中村好一	e-mail address nakamuyk@jichi.ac.jp	担当者氏名	中村好一
				e-mail address	nakamuyk@jichi.ac.jp

1 研究対象者の選定方針

栃木県内の救急告示医療機関（2008年4月現在74医療機関）の救急外来を2009年9月の1か月間に自殺・自傷で受診する全患者（外来到着時にすでに死亡している者も含む）

2 目標件数

100例（推計）

3 疫学研究の意義、目的、方法、期間及び個人情報保護の方法

(1) 意義

栃木県における自殺既遂者のデータは人口動態統計および警察データである程度明らかになっているが、自殺未遂者に関する資料はない。自殺を企図した者の全体像を明らかにすることにより、栃木県における今後の自殺予防対策に資することが可能となる。

(2) 目的

栃木県における自殺未遂者の実態を明らかにする。

(3) 方法

栃木県内のすべての救急告示医療機関に郵送法で添付資料1を用いて依頼し、「栃木県自殺未遂者調査 総括票」(添付資料2)と「栃木県自殺未遂者調査 個人票」(添付資料3)により、2009年9月1か月間に当該医療機関の救急外来を自殺・自傷で受診したすべての患者（受診時に死亡していた者も含む）に関する情報を収集し、解析を行う。収集する情報は添付資料2および添付資料3に示された項目である。対象医療機関との連絡はすべて郵便を用いて行う。

なお、本研究は栃木県からの委託研究である。

(4) 研究期間

許可されてから平成22年12月末日まで

(5) 個人情報保護の方法

「栃木県自殺未遂者調査 個人票」(添付資料3)に示すように、本研究で収集する個人情報は性別、年齢、居住市町名のみであり、個人を特定する情報は含まれていない。

収集した情報は公衆衛生学部門内のキャビネットに施錠して保存する。データ入力と解析は外部に接続しないコンピュータを用いて、パスワードで管理した上で行う。

4 共同研究機関の名称、共同研究者の所属、職名、氏名

該当なし

5 研究者等の所属、職名、氏名

地域医療学センター公衆衛生学部門	教授	中村好一	
〃	准教授	上原里程	
〃	講師	青山泰子	
〃	〃	小谷和彦	
〃	助教	定金敦子	
〃	〃	千原泉	
救急医学講座	准教授	加藤正哉	

6 インフォームド・コンセントのための手続き

本研究は他施設の既存の資料（診療録記載データ）を利用する研究であり、「疫学研究に関する倫理指針」（平成19年8月16日全部改正、文部科学省・厚生労働省）の「第4 個人情報保護等 3 他の機関等の資料の利用 (2) 既存資料等の提供に当たっての措置」の「① 当該資料が匿名化されていること（連結不可能匿名化又は連結可能匿名化であって対応表を提供しない場合）。」に該当するため、対象者の同意を得ずに実施する。なお、本研究の許可が得られた後に、本研究計画書を地域医療学センター公衆衛生学部門のインターネットサイト上に掲示して、対象者への周知を図る。

7 インフォームド・コンセントを受けるための説明事項及び同意文書

該当なし

8 研究に参加することにより研究対象者に対して期待される利益及び起こりうる危険並びに必然的に起こる不快な点

(1) 対象者にとって期待される利益

本研究を実施することにより、栃木県における適切な自殺予防対策を構築することを通じて、自殺の再発予防につながることを期待される。

(2) 対象者に対して起こりうる危険

特になし

(3) 対象者に対して必然的に起こる不快な点

特になし

9 研究に係る資金源、起こりうる利害の衝突及び研究者等の関連組織との関わり

(1) 資金源

栃木県からの受託研究費および地域医療学センター公衆衛生学部門講座研究費

(2) 起こりうる利害の衝突

特になし

(3) 研究者等の関連組織との関わり

特になし

10 研究結果の公表

本研究で得られた結果は、報告書としてまとめて、研究の委託元である栃木県に提出する。併せて、国際疫学会などの関連学会で発表し、**New England Journal of Medicine** 等の専門学術誌で論文として公表する予定である。また、必要に応じて関連のデータベースに登録することもある。いずれの場合においても公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、対象者の個人情報は一切公表しない。